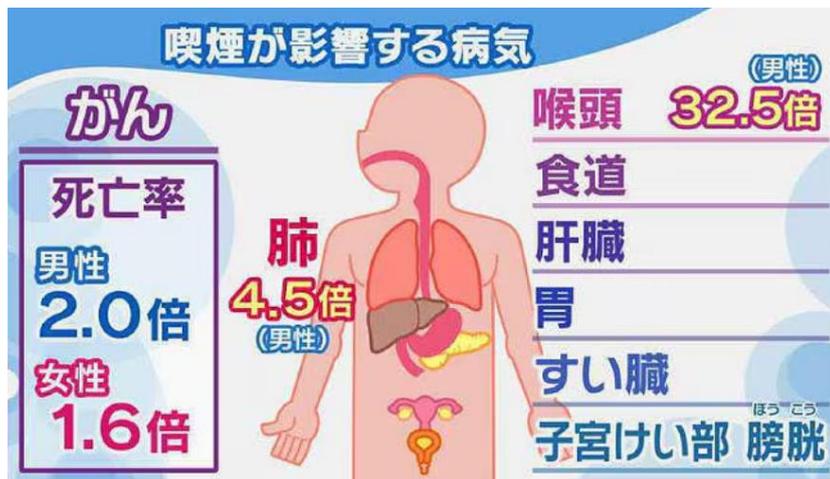


# 週刊 タバコの正体

タバコの煙には多くの有害物質や発がん物質が含まれているので、人体の色々なところにダメージを与えます。なかでも下図にあるように、咽頭がんや肺がんの発症率が高く死亡率も上がります。

しかし、ほとんど喫煙者はこの事を実感していません。それは喫煙を開始してから病気が発症するまで、かなり時間がかかるからです。下のグラフを見てください。



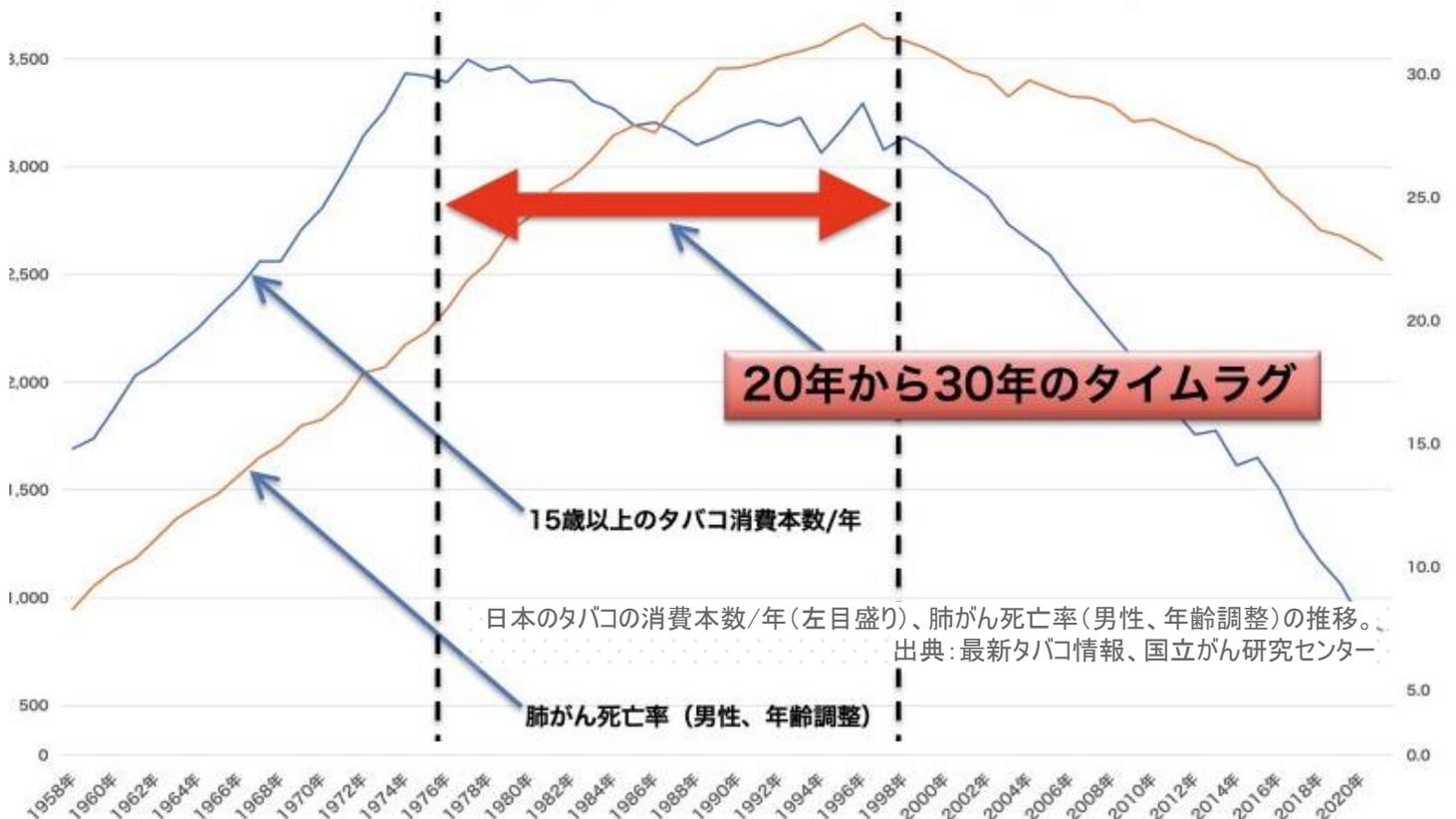
NHK 「きょうの健康」HP から

タバコ消費本数のピークより20年から30年後に肺がん死亡率のピークが来ていますよね。つまり、がんになるまで吸い始めて20~30年かかるわけです。だから実感できないのも無理ありません。

すぐに病気になる訳ではないからこそ、安易に手を出さないでください。

産業デザイン科 奥田 恭久

15歳以上のタバコ消費本数/年と肺がん死亡率（男性、年齢調整）の推移



YAHOO ニュース ~「タバコ消費量が減っているのに「肺がん」の死亡率が上がっているのは本当か ~ から